

きみと話したい

SAME BOAT

「Same boat」は英語の口語表現で「同じ状況」という意味。
 ゆっくり浮かぶボートの上で、ゆっくりコミュニケーションをとることで
 当事者同士だから自然につながれて、分かり合える。
 気持ちがずっと楽になってくれる。そして仲間になる。
 今回は「学校にいきづらさ」を抱えている状況の子どもたちやその親御さんが、
 日常とは異なる自然の中で当事者同士ゆっくりとつながる機会を提供します。

親子で
参加!!

ここでは心も体も我慢しなくていい。
 合わせなくていい。解放していい。
 だってここにはあなたをわかる人しかいないはずだから。
 このイベントを境にあなたはもう一人じゃない。

一般参加
可能!

参加費
無料!

日時 8.18(日) 13時～17時

場所 国立赤城青少年交流の家

運営法人：NPO法人ターサエデュケーション 後援：群馬県、群馬県教育委員会、前橋市、高崎市、伊勢崎市、まえばしCITYFM、FM GUNMA、群馬テレビ

<http://tasa-education.jimdo.com> ターサエデュケーション 検索

SAME BOAT

日時 8.18(日) 13時～17時

場所 国立赤城青少年交流の家

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山 27 Tel. 027-289-7224

参加費
無料!

親子で
参加!!

一般参加
可能!

「SAME BOAT」は平成28年より計7回にわたり開催し、延べ100組以上の群馬県内の不登校の親子に対して、当事者同士がつながる機会を提供してきました。今年度も「学校にいきづらさ」を抱えている状況の子どもたちやその親御さんが、日常とは異なる自然の中で当事者同士ゆっくりとつながる機会を提供します。子どもたちには森の中への冒険とさまざまなアトラクションを提供し、保護者には不登校の理解を深めるために専門家による講演会を開催します。



講師紹介



松島裕之 (まつしまひろゆき)

1982年千葉県出身。
NPO法人フリースクール全国ネットワーク事務局長。
小学校4年生から不登校をし、以来中学も高校も通わず育つ。
10代のころからいくつかのアルバイトをしながら過ごし、だんだんと不登校にかかわる仕事をしたいと思うようになる。仲間たちとの居場所づくりの活動、フリースクールでのボランティアなどを経て2007年よりフリースクール東京シュールのスタッフ、2012年から現職。

【ワークショップの内容】 親子別々での参加となります。

児童

森の中を冒険の書を片手に運営スタッフと、いくつもの、アトラクションをくぐり抜け、ゴールを目指せ!

保護者
及び一般

専門家による講演会「不登校をした子の学びと暮らし」
(講師：松島裕之 NPO法人 フリースクール全国ネットワーク 事務局長)

【参加条件】 学校にいきづらさを感じている小中高生および保護者※学校に行っている・行っていないは問いません。講演会についてはフリースクールなどの理解を深めたい方であればどなたでも可。

【参加お申し込み】 ✉ korandom.school@gmail.com

タイトルを「SAME BOAT」とし ①氏名(親子共) ②住所 ③連絡先 ④お子様の学年の項目を《上記アドレス》までお送りください。また、お電話でのお問合せは、027-226-5243 までお願いいたします。

【前回参加者の声】 <保護者> ○保護者・当事者同士で話をできたことがよかった。○子どもが外のイベントに楽しそうに参加できてよかった。○つながりができてよかった。○子どもが親と離れる時間を持てた。○自分だけじゃないんだと思った。<児童> ○普通に楽しかった。○気持ちがかさとした。○友達ができた○みんなで同じことを別々にできたことがよかった○ボランティアの方々が優しく過ごしやすいかった。

【特定非営利活動法人ターサ・エデュケーション について】

群馬県内で子どもの可能性をフェアにするをミッションに、子どもそれぞれへ公平な教育機会を提供する活動を行っております。

【フリースクールこらんだむ】

群馬県前橋市で不登校の子ども向けの学び場を平日10時から15時の間に運営しています。



参加申込みフォーム

